



平成 25 年 11 月 28 日

杉並区長 殿

杉並区NPO等活動推進協議会

会長 山本 啓

### 杉並区協働提案公開プレゼンテーションの評価結果について

平成 25 年 11 月 12 日に行われた杉並区協働提案公開プレゼンテーションについて、下記のとおり評価を行ったので報告します。

#### 記

#### 1 協働提案公開プレゼンテーション評価員

氏 名	区分	備 考
きくち まさお 菊地 端夫	杉並区NPO等活動推進協 議会 協働推進部会部会長	明治大学経営学部公共経営学科 准教授
あずみ かずなり 安住 一成	杉並区NPO等活動推進協 議会 協働推進部会部会員	区民公募
すぎやま さとこ 杉山 里子		区民公募
ただ くにあき 多田 邦晃		区民公募
みつもり いっせい 光森 一誠		団体推薦（杉並区町会連合会）
かとう としや 加藤 俊也	杉並区NPO等活動推進協 議会規則第3条第7項によ り協働推進部会が部会員以 外で出席を必要とする者	公認会計士・税理士 特定非営利活動法人 NPO会計 税務専門家ネットワーク専務理事
ながさわ えい 永沢 映		特定非営利活動法人 コミュニティビジネスサポートセ ンター 代表理事

## 2 評価内容

### ●協働提案No.①

#### (1) 協働提案名、協働提案者

協働提案名	協働提案者
親になったら、もう一度自転車を学ぼう！ おやこ自転車プロジェクト	株式会社パワーウーマンプラス 区交通対策課交通対策係

#### (2) 評価結果

「C+」（「3 協働提案公開プレゼンテーションの評価方法について参照」）

#### (3) 評価コメント

本協働提案は、親子自転車に注目した交通安全教育の企画・運営・実施を行うものです。これまで区側も自転車の交通安全教室を実施してきましたが、子供対象の自転車教育の効果を大人の自転車マナーが台無しにしていることが問題視されてきました。大人向けの自転車安全教室も開催してきましたが、対象者へのアプローチや集客について課題を有していました。株式会社パワーウーマンプラスが持つママさんネットワーク、またこれまでの親子自転車教室開催実績とノウハウを活用できれば、子育て世帯の親と子の双方が自転車の安全運転に関する知識と認識を深め、子育て世代にとってより一層魅力のあるまちづくりに貢献する可能性を有しています。これらの事業の課題・ニーズ把握、また協働の効果については部会員の多くが高い評価を与えました。

一方、本提案は親子自転車に限った取り組みであるが区内の自転車関係事故をより詳細に分析したうえで本事業の効果を測る目標値を設定したほうがよい、人員等の体制については将来の事業展開を視野にいたした注力が必要、事業者側の負担能力に関する懸念等、今後の事業実施にむけて一層検討が必要な課題も指摘されました。本協働提案を実施するにあたっては、協働の成果をより一層確かなものにするためにも、これらの点について区側と事業者側の一層の協議の下、事業を進められることを期待します。

● 協働提案No.②

(1) 協働提案名、協働提案者

協働提案名	協働提案者
家庭から出る生ごみを減量する施策の普及・拡大	特定非営利活動法人リトルワンズ 区ごみ減量対策課事業計画係

(2) 評価結果

「C+」（「3 協働提案公開プレゼンテーションの評価方法について参照」）

(3) 評価コメント

家庭から出る生ごみは可燃ごみの約4割を占め、ごみ全体の減量のためには生ごみの排出量を減らすことが重要となっています。そのためには区民の協力が不可欠であり、本協働提案は、NPO法人リトルワンズの持つ区内のママさんネットワーク、親子カフェという資源を利用し、ベジタリアン料理等のより健康な調理法等、生活にプラスになる講座や料理教室の開催を通じ、生ごみ減量に向けたより持続可能な手法の開発を行おうとするものです。本提案の目的はどのような講座内容や取り組みがより有効なのかを探ることであり、協働型政策マーケティング・リサーチとも呼べる内容となっています。各部会員は課題・ニーズの把握、事業の創造性・新規性について高い評価をつけました。

一方、本協働提案は提案団体の本来のミッションとはやや異なるものであり、他団体の専門家等の協力・協働が不可欠であることに対する懸念、事業を実施するうえで実現可能な目標と事業ステージ毎のマイルストーンの設定が必要な点、マーケットリサーチに関する分析能力の開発等の課題も指摘されました。杉並区は環境意識の高い住民が多いため、本事業によって開発された取り組み手法が上手く展開できれば、大きな効果が期待できます。本協働提案の効果をより一層高めるためにも、これらの点について区側と提案団体側の一層の協議の下、事業を進められることを期待します。

### 3 協働提案公開プレゼンテーションの評価方法について

#### ◆ 評価対象

##### (1) 提案関係書類の書類審査

- ①事前相談票（エントリーシート）、②提案団体の概要、③協働提案書、④協働提案経費概算書、⑤東京都への事業報告書等提出書[平成 24 年度分]（NPO 法人の場合）又は決算報告書[平成 24 年度]・納税証明書（株式会社の場合）

##### (2) 提案団体・担当課による公開プレゼンテーション、質疑

##### (3) 公開プレゼンテーション後の各部会員の意見交換

#### ◆ 評価方法

- 「協働提案評価表」を使用して各部会員が評価項目ごとに ABCDE 評価する。

A=特に期待できる（5点）、B=期待できる（4点）、C=標準的である（3点）、D=あまり期待できない（2点）、E=期待できない（1点）

- 各部会員評価表を集計し、以下のとおりの採点を評価の参考とする。

・評価項目及び全体の平均点を出す。平均点を出すに当たっては、7人の平均点と、最大値と最小値とを除外した5人の平均点の双方を算出

- 評価については、平均点に応じて以下の11段階で行うこととする。

A	B+	B	B-	C+	C	C-	D+	D	D-	E
特に期待できる		期待できる			標準的である			あまり期待できない		期待できない
5~4.5	4.4~4.2	4.1~3.8	3.7~3.5	3.4~3.2	3.1~2.8	2.7~2.5	2.4~2.2	2.1~1.8	1.7~1.5	1.4~1

#### ◆ 評価結果

協働提案No.①、協働提案No.②ともに、7人の平均点、最大値と最小値を除外した5人の平均点とも「C+」であったため、協働推進部会としての評価を「C+」とする。（「杉並区協働提案評価集計表」参照）

なお、各部会員のコメントを補足として添える。（「杉並区協働提案評価コメント一覧表」参照）

### 4 評価に係る参考資料

- (1) 杉並区協働提案評価集計表
- (2) 杉並区協働提案評価コメント一覧表